



平成18年12月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年5月9日

上場会社名 株式会社ノーリツ (コード番号：5943 東証・大証第1部)
 (URL <http://www.noritz.co.jp/>) (TEL：(078)391-3361)
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 神崎 茂治
 問合せ先責任者 役職名 常務取締役管理本部長 氏名 加部 利明

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 影響額が軽微なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結(新規) 2社 (除外) - 社 持分法(新規) - 社 (除外) - 社

2. 平成18年12月期第1四半期の財務・業績の概況(平成18年1月1日～平成18年3月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年12月期第1四半期	45,438	4.4	2,236	1.7	2,576	7.5	1,339	7.7
17年12月期第1四半期	43,523	2.2	2,275	12.3	2,786	8.2	1,450	14.8
(参考)17年12月期	176,047		6,949		8,402		4,273	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年12月期第1四半期	27 99	- -
17年12月期第1四半期	29 62	- -
(参考)17年12月期	86 65	- -

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率であります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を受けて民間設備投資の増加傾向が続き、また個人消費にも明るさが見えるなど、景気は引き続き回復基調を維持しております。しかしながら、原油価格の高止まり、金利の動向など先行き懸念される状況下にあります。

住宅設備業界におきましては、新設住宅着工戸数は前年同期比増加傾向にありますが、需要全体では低迷し、また電化の伸長や価格競争の激化に加え素材価格高騰など厳しい状況が続いております。

このような状況の下で、当社グループは、「創造21計画、第2次中期経営計画」2年目の年として、引き続き、お客様の声を反映した付加価値の高い商品開発、リフォーム向けの営業体制強化、海外営業拠点の整備など、「ニューバリュー政策」「ハウレッシュ政策」「グローバル政策」の3大政策について具体的展開を進めてまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期における売上高は454億38百万円(前年同期比4.4%増)となりましたが、販売価格の下落に加え、素材価格の高騰により、営業利益は22億36百万円(同1.7%減)、経常利益は25億76百万円(同7.5%減)、四半期純利益は13億39百万円(同7.7%減)となりました。

なお、当社グループの事業内容は、単一のセグメントによっているため、機器別情報を記載することとしており、当第1四半期の販売実績を機器別に示すと、次のとおりであります。

(単位:百万円、端数切捨て)

期別 機器別の名称	当第1四半期 (自平成18年1月1日 至平成18年3月31日)		前第1四半期 (自平成17年1月1日 至平成17年3月31日)		前連結会計年度 (自平成17年1月1日 至平成17年12月31日)	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	構成比 %
温水・空調関連機器	30,092	66.2	28,439	65.3	110,522	62.8
浴室・厨房関連機器	9,821	21.6	9,854	22.6	44,591	25.3
サービス事業	4,570	10.1	4,288	9.9	16,876	9.6
その他事業	954	2.1	940	2.2	4,056	2.3
合計	45,438	100.0	43,523	100.0	176,047	100.0

(注)1. 「温水・空調関連機器」には、海外事業の実績も含めております。

2. 「その他事業」は、コンポーネント事業及び新規事業であります。

温水・空調関連機器分野では、高効率ガスふろ給湯器「ユコアGTエコジョーズ」、業務用ガス給湯器及びコージェネ型給湯器「エコウィル」が順調に売上を伸ばしました。また、大画面浴室テレビ「DECAZO(デカゾー)」も好調を持続しております。一方、海外ではアメリカでのガス給湯器の販売が着実に伸び、売上拡大に寄与しました。その結果、売上高は300億92百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

浴室・厨房関連機器分野では、ハイクラスのガラストップビルトインコンロ「Sブリンク」、高機能のシステムキッチン「エスタジオ」、システムバス「グラシオ」が販売台数を伸ばしましたが、これまで売上を拡大してきた普及タイプのシステムバス「JUBシリーズ」、洗面化粧台「シャンプーヌS」が減少し、売上高は98億21百万円(同0.3%減)となりました。

サービス事業の売上高は45億70百万円(同6.6%増)となりました。売上増加の主な要因は、新規に連結に加えました能率香港集団有限公司の売上によるものであります。

その他事業では、エレクトロニクス関連部品の販売が拡大し、売上高は9億54百万円(同1.5%増)となりました。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年12月期第1四半期	149,719	89,836	60.0	1,877 38
17年12月期第1四半期	146,866	86,704	59.1	1,770 70
(参考)17年12月期	151,533	89,089	58.8	1,860 92

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年12月期第1四半期	4,212	1,492	398	18,484
17年12月期第1四半期	4,579	2,806	553	22,306
(参考)17年12月期	8,080	9,695	3,560	15,887

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産残高は、1,497億19百万円(前連結会計年度末比18億14百万円減)となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加額16億円、受取手形及び売掛金の減少額40億23百万円、建設仮勘定の増加額11億75百万円などによるものであります。

また、株主資本は、898億36百万円(同7億47百万円増)となりました。この結果、株主資本比率は60.0%となり、前連結会計年度末に比べ1.2ポイント増加いたしました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により得られた資金は42億12百万円となり、投資活動においては14億92百万円の資金を支出いたしました。財務活動においては3億98百万円の資金を支出いたしました。これらの結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末の残高は184億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて25億96百万円の増加となりました。

<参考> 四半期個別経営成績等の概況(平成18年1月1日～平成18年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年12月期第1四半期	36,371	1,641	1,987	1,209
17年12月期第1四半期	35,328	1,501	1,675	928
(参考)17年12月期	138,107	3,712	4,537	2,188

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
18年12月期第1四半期	128,238	82,995
17年12月期第1四半期	127,481	81,523
(参考)17年12月期	127,694	82,027

3. 平成18年12月期の連結業績予想(平成18年1月1日～平成18年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	86,500	3,400	1,750
通期	181,500	8,500	4,350

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 90円10銭

<参考> 平成18年12月期の個別業績予想(平成18年1月1日～平成18年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	67,600	2,400	1,200
通期	138,600	4,900	2,400

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 50円15銭

[業績予想に関する定性的情報等]

先行きの経営環境は、需要が伸び悩む中、市場での価格競争の激化、電化の伸長、素材価格高騰など、より一層厳しい状況が続くものと思われま。

このような状況の下、当社グループは今後も顧客ニーズに合った新商品の市場投入、リフォーム需要開拓のための販売ネットワークの整備、海外における販売、サービス網の充実など売上拡大にむけた活動を積極的に展開してまいります。あわせて、製造原価の低減、販売費及び一般管理費の削減に努め、収益体質の強化に努めてまいります。

業績予想につきましては、当第1四半期は、概ね計画どおりに推移しており、現時点では平成18年2月13日に発表しました業績予想数値に変更はありません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、端数切捨て)

期 別 科 目	当四半期 (平成18年12月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成17年12月期 第1四半期末)		増 減		(参 考) 平成17年12月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
流動資産	85,071	56.8	84,061	57.2	1,010	1.2	87,063	57.5
現金及び預金	20,580		19,899		681		18,979	
受取手形及び売掛金	47,865		46,802		1,063		51,889	
有価証券	4,078		3,413		665		3,185	
たな卸資産	7,955		6,738		1,217		8,237	
その他	4,591		7,207		2,616		4,772	
固定資産	64,647	43.2	62,804	42.8	1,843	2.9	64,469	42.5
有形固定資産	30,933		30,471		462		29,996	
無形固定資産	2,710		2,780		70		3,035	
投資その他の資産	31,003		29,553		1,450		31,438	
資産合計	149,719	100.0	146,866	100.0	2,853	1.9	151,533	100.0
(負債の部)								
流動負債	44,016	29.4	42,788	29.1	1,228	2.9	46,135	30.4
支払手形及び買掛金	31,775		30,721		1,054		34,995	
短期借入金	943		621		322		540	
その他	11,297		11,445		148		10,599	
固定負債	14,073	9.4	15,711	10.7	1,638	10.4	14,552	9.6
退職給付引当金	9,545		10,634		1,089		9,853	
その他	4,528		5,076		548		4,699	
負債合計	58,090	38.8	58,500	39.8	410	0.7	60,688	40.0
(少数株主持分)								
少数株主持分	1,792	1.2	1,662	1.1	130	7.8	1,755	1.2
(資本の部)								
資本金	20,167	13.5	20,167	13.7	-	-	20,167	13.3
資本剰余金	22,956	15.3	22,956	15.6	-	-	22,956	15.1
利益剰余金	47,758	31.9	45,378	30.9	2,380	5.2	47,514	31.4
その他有価証券評価差額金	3,714	2.5	1,088	0.8	2,626	241.4	3,249	2.1
為替換算調整勘定	277	0.2	27	0.0	304	-	238	0.2
自己株式	5,038	3.4	2,859	1.9	2,179	76.2	5,038	3.3
資本合計	89,836	60.0	86,704	59.1	3,132	3.6	89,089	58.8
負債、少数株主持分及び資本合計	149,719	100.0	146,866	100.0	2,853	1.9	151,533	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、端数切捨て)

期 別 科 目	当四半期 (平成18年12月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成17年12月期 第1四半期)		増 減		(参 考) 平成17年12月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売 上 高	45,438	100.0	43,523	100.0	1,915	4.4	176,047	100.0
売 上 原 価	30,950	68.1	29,593	68.0	1,357	4.6	122,698	69.7
売 上 総 利 益	14,488	31.9	13,930	32.0	558	4.0	53,349	30.3
販売費及び一般管理費	12,251	27.0	11,654	26.8	597	5.1	46,400	26.4
営 業 利 益	2,236	4.9	2,275	5.2	39	1.7	6,949	3.9
営 業 外 収 益	442	1.0	578	1.3	136	23.5	1,868	1.1
受取利息及び受取配当金	28		34		6		265	
そ の 他	413		544		131		1,602	
営 業 外 費 用	102	0.2	68	0.1	34	50.0	414	0.2
支 払 利 息	22		19		3		80	
そ の 他	79		48		31		334	
経 常 利 益	2,576	5.7	2,786	6.4	210	7.5	8,402	4.8
特 別 利 益	-	-	-	-	-	-	4	0.0
特 別 損 失	19	0.1	58	0.1	39	67.2	712	0.4
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,556	5.6	2,728	6.3	172	6.3	7,694	4.4
法人税、住民税及び事業税	951	2.1	919	2.1	32	3.5	2,737	1.6
法人税等調整額	225	0.5	320	0.8	95	29.7	566	0.3
少数株主利益	40	0.1	37	0.1	3	8.1	116	0.1
四半期(当期)純利益	1,339	2.9	1,450	3.3	111	7.7	4,273	2.4

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、端数切捨て)

期 別 科 目	当四半期 (平成18年12月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年12月期 第1四半期)	(参 考) 平成17年12月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,556	2,728	7,694
減 価 償 却 費	1,166	1,226	5,642
売上債権の増加額(減少額)	3,988	3,173	1,638
たな卸資産の増加額(減少額)	624	702	713
仕入債務の増加額(減少額)	3,300	2,798	1,365
退職給付引当金の減少額	307	294	1,075
そ の 他	1,005	881	997
小 計	5,733	5,620	10,278
利息及び配当金の受取額	39	30	256
利息の支払額	21	18	80
法人税等の支払額	1,539	1,052	2,374
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,212	4,579	8,080
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	3	1,001	2,001
定期預金の払戻による収入	-	1,500	3,000
有価証券の取得による支出	501	2,436	6,923
有価証券の売却による収入	600	30	1,458
有形固定資産の取得による支出	1,824	911	5,115
そ の 他	237	12	113
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,492	2,806	9,695
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(減少額)	275	139	3
自己株式の取得による支出	-	-	2,179
親会社による配当金の支払額	669	685	1,369
そ の 他	4	7	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	398	553	3,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	11	11
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	2,327	1,230	5,187
現金及び現金同等物の期首残高	15,887	21,075	21,075
非連結子会社の連結に伴う 現金及び現金同等物の増加高	269	-	-
現金及び現金同等物の 四半期(期末)残高	18,484	22,306	15,887